

1 組織名 白沢住民自治会

2 地区の概要

○面積 2.453 k m² ○世帯数 203世帯 ○人口 608人

(1) おいたち

元治元年（1864）南部藩による検地が行われ白沢のうち細屋、九曜坊、狐崎を煙山に編入し、煙山の南田、津村田、曲田、馬場が白沢に配属され現在の白沢が誕生した。

地域の人たちは厳しい環境に苛まされながらも、地域の絆は強く伝承されつつ明治となり、封建時代の影を残しながらも地主を中心とした風格のある文化が創造され、年中行事とか諸種の芸能、消防、青年会、組合、同好組織活動によって充実した集落づくりが営まれてきた。

かつての武家制度が崩壊し明治6年徴兵令が交付され、それから昭和20年8月15日太平洋戦争が終わるまで幾度となく戦争は繰り返され、その度毎に郷土から戦場へ送り出され、尊い命を失った多くの人達がいる。

戦争景気で膨張した経済、価格の低落と合理化、失業の増大、それに関東大震災に加えて金融恐慌と金解禁のデフレ政策等により農村の生活は極度に疲弊していった。

このような経済的苦境を乗り越える実践道徳として、二宮尊徳翁の報徳精神が家を立て村を興す根本思想として盛んに研究され、白沢では昭和18年当時の藤原英一村長に勧められ、15日間の報徳講習に受講者を送った。

そして21年の春、同士によって報徳で言う「一円融合、生々発展」の考え方を取り入れて「円融合」を組織し相互研修を行い、これが教育活動で中心的役割を担うようになり、部落公民館創設の原動力となった。

昭和25年共同作業場を改造し公民館を設置し、地域活動の拠点としての体制を整備し、翌26年の部落総会において公民館規則が制定され、地域の茶の間として多くの人達に活用された。

昭和44年公民館当局は公民館の位置付けと役割を明確にするため、部落の主体構成確立の必要性を唱え、予め準備された部落会結成に関する提案がなされ、白沢部落会が誕生した。

(2) 特徴、特色

○ 部落会の誕生

総会において公民館の位置付けが明確にされると共に内部体制が整備され、総務、管理、社会教育、厚生体育の4部門で活動が展開された。この年、広報「しらさわ」第1号が発刊された。

昭和51年3月、白沢部落が岩手県貯蓄推進委員会から「貯蓄推進実践地区」の指定を受けた。

この実践方法について協議の結果、「善種永安貯金」の推進を大きな柱とし、知力、体力も含めた貯蓄活動に推進することとし、毎月1戸千円の無目的貯金を実現し、同56年6月には1千万円の目標を達成し記念大会を開催し、善種永安貯金が一層増強発展し、名実ともに善い種となって永安の郷土作業作りに作用し、永続発展してくれることを大きく期待した。

昭和57年には公民館開設30周年を祝う式典が盛大に行われ、同年10月29日宮古市で開

かれた「第10回岩手県民運動推進大会」において、白沢部落が「県民運動優良実践団体」として表彰を受けた。また、情宣部により「白沢部落家族写真集」が編集発刊され、各家庭に配布された。

農村集落の生活環境が多様化するに従い部落組織の見直しが検討され、町行政に対応していく行政委員会、社会教育活動に機能する公民館組織、そして各種団体、グループの独自性を育成しながらも、各団体の共通課題の有機的な結合を図り、地域活動のより発展に努めることとし昭和58年総会において白沢住民自治会が発足した。

○ 白沢住民自治会発足

自治会には総務、財務、行政（隣組）、生産経済、貯蓄、彰徳地、公園の7委員会を、公民館には総務、社会教育、体育、情宣、厚生 of 5部を設け、常に住民の意見に耳を傾けながら住民による積極的な地域活動が行われた。

昭和60年、偶々公民館隣接地が売却されることになり、自治会において公民館敷地並びにコミュニティ広場用としての取得について検討がなされ、「21世紀に向けた白沢の人々のコミュニティ活動の拠点」との認識のもとに、同61年6,731㎡の用地を取得し、広場の造成を行った。

又、同年11月、町より新農業構造改善事業の一環として国庫補助をうけ、集落センターを建設する等目まぐるしい取り組みのもとに施設整備が進められた。

用地取得並びに広場の造成に3,038万円、集落センター建設に3,176万円、合計6,214万円（内補助金1,884万円）自治会拠出金総額4,330万円の大事業を短期間に進めることができたのも、行政当局等の格別な配慮と、地区住民が白沢の歴史上曾てない膨大な資金規模の事業にも拘らず快く対応出資して頂いた賜物であり、昭和51年以来地区民一体となって推進してきた「善種永安貯金」が大きく作用したもので、名実ともに善い種となって永安の郷土社会づくりに大きな役割を果たした。

昭和40年代に取り上げられた郷土誌の編集発刊も一時中断されていたが、平成6年再度取り組み8年余にわたる長い期間を経て漸く平成15年7月郷土誌「白沢村物語」として編纂発行することができた。

平成17年、公民館事業により郷土の遺跡、史跡を保存するため、その地に標柱を建立し地域の人たちと探訪し理解を深めると共に、後世に伝承していく活動を実施した。

3 コミュニティ計画

(1) コミュニティ活動方針

① キャッチフレーズ

明るい家庭と隣組を基盤とし、郷土愛と連帯感による住民自治により、楽園白沢の文化を創造する。

② 活動方針

- 1 住民相互の親睦とふれあいを深め、お互いに協力しあい、知恵を出し合い、心豊かで思いやりのある家庭、集落づくりを推進。
- 2 文化と教養を高め、芸術文化活動を推進するとともに各種団体及び各種グループ活動を支援し、活力ある地域活動の推進。
- 3 少子高齢化社会に即した地域福祉活動を通じて、心身ともに健康で気持ちも

豊かな地域づくりの推進。

- 4 防犯灯の設置、ごみの資源リサイクル等生活環境の整備や農業農村地域の環境衛生等、住みよい環境づくりの推進。
- 5 自主防災会の活動推進と非行犯罪のない安全な地域づくり。
- 6 消防団、消防後援会等を中心とした防災防火体制の強化と交通安全意識の高揚と違反事故のない明るい地域づくり。

(2) 組織体制及び活動の内容

区 分	活 動 の 内 容
総務委員会	事務局、企画調整、恒例行事
財務委員会	収支計画、資金調達・配分・管理
行政（隣組）委員会	行政・自治会事務連絡、事業協力
生産経済委員会	農業・生産（農家組合、営農組合との協調）
公園委員会	耕地整理功労者の顕彰、彰徳地・森山パストラルパークの管理
消防後援会	地域防災（自主防災会との連携）、消防団第9部の活動支援
子供会育成会	地域児童・生徒の健全育成
体育振興委員会	スポーツ大会の参加、体力向上
地域安全協議会	地域の安全・安心、情報交換、集約
自主防災会	自身・火災・風水害等の災害による被害の防止及び軽減
公民館 総務部	総合企画、公民館・グラウンドの管理
社会教育部	生涯学習、スポーツ
情宣部	広報の発行
厚生部	レクリエーション、芸術文化、健康の増進

(3) 主な事業、年間行事等

主な行事、年間行事名	内 容	担当部・会等
新年交賀会	新年交賀会と新春講演会	総務委員会
彰徳地祭り (6月第1土曜)	郷土が生んだ先人の偉業に感謝	総務、公園委員会
日曜リサイクル(2回)	古紙、アルミ缶等の回収	総務委員会
ボランティア活動	みちのく療育園に古布贈る	総務委員会
県道草刈事業(1回)	県より委託	総務、行政委員会
河川清掃(2回)	町より委託	総務、行政委員会
森山パストラルパーク 維持管理	町より委託	公園委員会
彰徳地公園維持管理	鹿妻穴堰土地改良区より	公園委員会
運動会	2年毎(町民運動会のない年)	総務、公民館
入学を祝う会	小学校入学生と父母	公民館
文化祭	展示部門と舞台部門隔年	公民館

主な行事、年間行事名	内 容	担当部・会等
成人祝い	記念品贈呈	公民館
歳祝い	還暦、古希	公民館
郷土芸能の保存	白沢神楽、白沢さんさ踊り	公民館、 子供会育成会

(4) コミュニティ施設等の整備計画

(単位:千円)

実施年度	事業区分	事業費	内容説明
令和3年度	防犯灯設置事業	165	LED化
	青少年健全育成整備事業	200	伝承芸能用備品購入
	公民館整備事業	725	公民館LED化
令和4年度	防犯灯設置事業	225	LED化、新設
	コミュニティ活動促進事業	300	テント購入
令和5年度	防犯灯設置事業	225	新設
	ごみ集積所整備事業	300	全面改修
令和6年度	防犯灯設置事業	225	新設
令和7年度	防犯灯設置事業 公民館整備事業	225 1,010	新設 エアコン設置

4 資金計画

(1) 収入計画

(単位:千円)

科目	説明	金額				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自治会費	9,500円×164世帯数	822	1,558	1,558	1,558	1,558
補助金	道路・河川愛護費	630	630	630	630	630
	防犯灯電気料・設置	130	170	170	170	170
	その他	612	300	300	150	655
委託費	公園管理	460	460	460	460	460
その他	雑収入、基金繰入金 ほか	1,179	167	167	17	522
合計		3,833	3,285	3,285	2,985	3,995

(2) 支出計画

(単位:千円)

科目	説明	金額				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
総務委員会繰出	活動費	795	1,280	980	980	980
行政委員会繰出	活動費	154	135	435	135	135
公民館繰出	活動費	1,727	750	750	750	1,760
公園委員会繰出	活動費	335	300	300	300	300
消防後援会	活動費	220	220	220	220	220
子供会育成会	活動費	136	136	136	136	136
体育振興委員会	活動費	30	30	30	30	30
積立金	公民館補修等	250	300	300	300	300
予備費等		186	134	134	134	134
合計		3,833	3,285	3,285	2,985	3,995

○ 組織図

